

1. 本県周辺海域の概況(図1, 11/15現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼をやや離岸した状態で、本県沖合を立ち上がるように北～北東に流去しています。本県海域の広い範囲で暖水が波及しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 30′ 東経147° 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年より大きめで推移しています。三陸南部～常磐北部の下層に冷水域(平年偏差-4～-3℃)が存在します。
- ・三陸沖合の北緯39° 東経144° 付近に暖水塊が形成されています。

2. 海洋観測結果(11/5～15:調査船「ときわ」)

- ・時化の影響により、会瀬定線と大洗定線の沖合2点(東経141° 45′ ～142° 00′ )が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で17.6～23.5℃, 大洗沖で18.7～23.4℃, 鹿島沖で18.0～23.4℃, 犬吠埼沖で21.3～24.2℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、表層では気温の低下に伴い降温(-3～-1℃)する海域がある一方、大洗・会瀬定線の一部海域では暖水波及の影響により昇温しました(+1～+2℃)。また、下層(100m以深)では暖水波及の影響が強く、ほぼ全域で大きく昇温(+3～+10℃)しました(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると、暖水波及の影響により、ほぼ全域で「高め基調」の水温環境となりました(図8～9, 図16～17)。
- ・潮流の特徴として、犬吠埼～大洗沖合の東経141° 30′ 以東では黒潮本流の北東への強い流れ(2.0～3.5ノット)が観測されましたが、東経141° 以西の沿岸域では1ノット以上の強い潮流は観測されませんでした。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行したC型で推移するでしょう。また、本県沖での黒潮流路は北東～東方で大きく変動するでしょう。
- ・親潮の面積は大きめで推移するとみられますが、親潮第一分枝の先端は北緯41° 東経145° 付近(青森県沖合)に後退するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、全域で表層・下層とも「高め基調」で推移するでしょう。

